

国際センター通信(No.138)

国際センター通信は、土木学会の国際活動・技術交流を中心に情報を集め、月1回国内外に発信しています。国際センターや海外支部（英国、韓国、台湾、トルコ他、全9分会）の活動や行事、ACECC（アジア土木学協会連合協議会）の動き、調査研究委員会（31分野）の国際活動、国内外で活躍する技術者・研究者、最新技術やユニークなプロジェクト等、当会を通して今の土木界の側面を楽しく面白くお伝えしています。皆さまの御希望やリクエストをお待ちしています。

今月のトップバッターは、国際センター教育グループのメイン活動の一つである出前講座です。2019年北海道大学から始まり、京都大学、芝浦工業大学、今年から九州大学が加わりました。海外でのプロジェクトやコンサルタントの業務まで経験豊かなメンバーが講師を務めています。2022年度会長特別プロジェクト「土木グローバル化総合委員会」は2023年6月から国際センターが所管し、2年目の活動を実施しています。今回、「土木技術者の国際化実践小委員会」が2023年度の活動を振り返りながら2024年度への展開と期待を語ります。そして、JICAから活動の紹介です。2021年に発表した「JICA グローバル・アジェンダ」（開発途上国の課題に取り組む20の事業戦略）の一つ「運輸交通」における「道路交通安全クラスター」は海外における道路インフラ整備や交通安全への意識と認識の向上に向けた取り組みを広げています。今回は、2023年APRSO（アジア太平洋道路交通安全フォーラム）の総会の様子を報告いただきます。

ぜひ感想やコメント、読みたいトピックなどお知らせください。

九州大学 出前講座

土木学会国際センターでは、2019年から、日本の将来を担う若者たちに海外プロジェクトの意義や海外での仕事の進め方を伝えるため、大学等における講義の一コマを使わせていただき、出前講座を提供している。

出前講座では、国際機関や、海外におけるコンサルやゼネコンの実務を紹介したあと、講師との質疑応答を通じて、海外のプロジェクトマネジメントについての理解を深めてもらっている。

開始して5年目を迎える今年は、京都大学、芝浦工業大学、北海道大学に加え、2024年1月19日に、九州大学工学部にて「土木と社会セミナー」の丸谷 靖幸 先生による講義の一コマをいただき、工学部2年生約80名に対して、高橋 秀 氏（日本工営ビジネスパートナーズ（株）人財企画部長）による出前講座を実施した。

この講座は「若手技術者のキャリア形成・建設コンサルタントの場合」をテーマにしており、海外で働く建設コンサルタント業の若手技術者に焦点を当てている。講義では以下のトピックを紹介した。



九州大学「土木と社会セミナー」

- ① 期待される技術者像とキャリア形成: 建設コンサルタントとして求められるスキルや資質、キャリアの構築方法について。VSOP モデル（リーダーシップ論における「ビジョン・戦略・目標・熱意」）。
- ② 技術者のキャリアと技術士: 技術者としての成長と技術士の資格について。
- ③ OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）と OFF-JT（オフ・ザ・ジョブ・トレーニング）の重要性: 若手技術者の成長をサポートするキャリアデザインや技術・スキル向上を目的とする研修プログラム。
- ④ 国際協力における建設コンサルタントの仕事: 海外でのプロジェクトや国際的な協力において求められる役割。ODA 事業。社会インフラの整備と「設計・施工分離の原則」、ハード事業とソフト事業。
- ⑤ 建設コンサルタントとしてスキル&キャリアアップした出来事: 成功事例やヒント。

受講生からは、海外事業に関わってよかったと感じた場面や、仕事のやりがいに関する質問が多かった。一方で、技術士資格のグローバル性や、建設コンサルタントの就業環境に関する質問もあった。これらの質問は、建設コンサルタントの海外での活躍とやりがいを理解した一方で、就業環境への不安があることを示していると考えられる。したがって、建設コンサルタントを若手技術者の進路として魅力ある職業、業界にするためには、海外事業、国際協力事業への参画の重要性と発展性をアピールするとともに、働き方改革への取組みを一層進める必要があると感じた。

土木学会国際センターでは、実施校拡大に向け、他の大学や高専などとも連携していく予定である。



高橋 秀 氏の講演

【記：国際センター・教育グループ】

「土木技術者の国際化実践小委員会」の活動は続く

2022 年度会長プロジェクトの一環でスタートした「土木技術者の国際化実践小委員会」は、2023 年度から国際センターに籍を移して活動を継続しています。国際的に活躍できる人材の育成すべき、という積年の課題に対し、委員が相互に刺激し合いながら、それぞれの海外進出に向けて具体的な活動に取り組む場です。

ここで最も重視することは、その名称にあるように「実践」です。過去の事例を調べて課題を抽出し、解決方法を策定する迄に留まらず、それから先へ具体的に行動すること。それは調査・設計から施工に移ると、当初の目論見通りに行かない事態も起こり、それらを乗り越えて竣工させる、まさに土木事業と似ています。そして、当委員会では「国際化」を掲げながらも、広義では目標実現に向けたプロジェクトマネジメントをしていると感じます。

2023 年度は、海外事業への進出と技術継承にフォーカスしたシンポジウムの開催、国際会議への調査団の派遣、JICA 技術協力プロジェクトの訪日調査団へのメンテナンス技術の紹介、海外で公募された PPP 太陽光発電プロジェクトの模擬応募、海外分会との交流等、バラエティーに富んだ活動が実行されました。これらは活動当初に計画したままではなく、改良したり、まったくゼロから着想、実行したものです。筆者は委員長としては、そうした「想定外」を楽しんできました。今年は何が創造されるのでしょうか？これからも、出来るだけ多くの方々に、この真面目かつ楽しい場に加わって、将来役立つ経験や人脈の獲得に活用していただきたいと願っています。やはり、まだまだ続きます。

なお、当小委員会では委員を随時募集していますので、ご関心を持たれた方は HP をご確認の上、ご応募下さい。また、2024 年 1 月、2022 年度の活動の報告会を開催しました。その録画が Youtube で公開されていますので、ご視聴下さい。

・小委員会 HP :

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai14/node/7>

・土木学会 tv :

<https://www.youtube.com/watch?v=c3RrkQAfh5U>



小沼 恵太郎
(国際化実践小委員会
委員長)

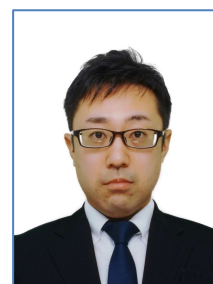


土木グローバル化総合委員会 ディスカッション

【記：国際センター 土木技術者の国際化実践小委員会 委員長 小沼 恵太郎
(パシフィックコンサルタンツ (株))】

APRSO2023 年次総会への参加

JICA では 2021 年に「運輸交通」グローバルアジェンダ¹のもと、「道路交通安全クラスター」を立ち上げ、開発途上国における交通安全取締り、交通安全教育、交通事故対策等の取り組みを重点的に支援しています。現在はタイ、カンボジア、バングラデシュ、ウズベキスタンにて専門家を派遣し、課題別研修においては日本の交通戦争を克服した知見の講義・現地視察を提供しこれまでに 33 カ国より 80 名を超える研修生を受け入れています。また、過去にはネパールに継続的に協力隊を派遣し支援してきました。



近藤 竜平
(独) 国際協力機構

この度、2023 年 12 月 5 日 (火)～12 月 7 日 (木) の 3 日間にわたり、フィリピン国マニラにおいて APRSO (Asia-Pacific Road Safety Observatory)² の 2023 年次総会³ が開催され、JICA もパネルディスカッション等を通じた交通安全分野に関する活動の紹介、世界の交通安全に関するトレンド情報収集、他団体とのネットワーク構築を目的として初めて参加しました。

APRSO は ADB (アジア開発銀行)、WB (世界銀行) 等によって 2021 年に設立されたアジア太平洋諸国における交通事故削減の取り組みを支援する地域フォーラムとなります。今回の年次総会は 3 回目の開催となり、50 カ国以上から約 230 名が参加しており、聴講者は APRSO メンバーシップ国からの交通安全を担う省庁の方が最も多く、次いで各国国際支援団体・機関 (NGO 含む)、学術機関、民間企業となり、インド、バングラデシュからの参加が多い様子でした。



パネルディスカッションの様子

本総会では車両スピード抑制、二輪車事故、若年層の犠牲⁴に関するテーマが集中的に取り上げられており、SDGs 3.6 にも掲げられている「世界の道路交通事故による死傷者を半減」に対する参加各国の関心の高さを確認できました。JICA から、JICA の道路交通安全分野の取り組みについて紹介し、広く情報発信できる大変有意義な機会となりました。また、総会全体の発表内容を通して、特に開発途上国においては、交通事故死傷者の削減が喫緊の課題として重要視されており、交通安全分野に関する支援への期待が高いことを改めて認識しました。

最先端の技術としては ABS (アンチロック・ブレーキ・システム: ブレーキ操作において、車輪のロックによる滑走発生を低減する装置) 等の紹介があり、既に日本でも一部は義務化されており目新しい技術はなかった印象でしたが、事故データ等の収集においてはプローブデータ (ブレーキ・速度計・カーナビ・ドライブデータ等の移動体通信システムを用いて取得されるデータ) やスマートフォン、衛星画像分析を活用した先進的な取り組みも見られました。また、ワークショップにて日本でのスピード抑制の一つとしてメロディロード (舗装への溝切れ込みにより音を発生) を紹介したところ、司会者をはじめ聴講者から非常に大きな関心を寄せられました。

JICA は今後とも開発途上国での道路交通安全分野の支援を展開して参りますので、引き続きのご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

¹ <https://www.jica.go.jp/activities/issues/transport/index.html>

² <https://www.aprso.org/>

³ <https://adb.eventsair.com/aprso-meeting-roadsafetyevent/>

⁴ 5歳～29歳においては、結核、下痢性疾患を上回り、道路交通事故が死因第一位。WHO, Global status report on road safety 2023



APRSO 参加者

【記：（独）国際協力機構 近藤 竜平】

お知らせ

【今後の予定】



◆【募集中】第7回 技術基準の国際化セミナー

「アフリカ地域における道路橋梁アセットマネジメントの海外展開について～モザンビークでの事例～」

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/377>

◆2022 年度国際貢献賞、国際活動奨励賞 受賞者インタビュー公開中！

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLRALmeewpTqpEUFkNve2wi218nQ-SC0Wo>

◆【開催案内】「台湾土木遺産視察ツアー」のご案内

<https://committees.jsce.or.jp/cprcenter/node/405>

◆【社会支援部門 災害速報】令和6年能登半島地震への対応

<https://committees.jsce.or.jp/report/>

◆令和5年度 土木学会 会長室: <https://www.jsce.or.jp/president/index.shtml>

◆海外インフラプロジェクトアーカイブス: <http://www.jsce.or.jp/e/archive/>

◆国際センターだより: http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2024

◆第202回論説(2024年3月版) オピニオン

(1) 科学映像と土木: <https://note.com/jsce/n/n4278bb9d6338>

(2) ポルトランドセメントの200年とこれから: <https://stand.fm/channels/649ab547b352effb9d50aa49>

- ◆ The English Summary Edition of JSCE Standard Specifications for Concrete Structures
https://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/web/pdf/Summary_edition_20240227.pdf
- ◆ 6th JSCE Concrete Committee Webinar "Frontiers of Concrete Technology"
<https://www.jsce-int.org/node/879>
- ◆ 2023 年度「国土強靱化定量的脆弱性評価・報告書」の第一弾 報告書 公表
<https://jsce-ip.org/about/%E5%B0%8F%E5%A7%94%E5%93%A1%E4%BC%9A%E6%B4%BB%E5%8B%95/%E5%9B%BD%E5%9C%9F%E5%BC%B7%E9%9D%B1%E5%8C%96%E5%AE%9A%E9%87%8F%E7%9A%84%E8%84%86%E5%BC%B1%E6%80%A7%E8%A9%95%E4%BE%A1%E5%A7%94%E5%93%A1%E4%BC%9A/>
- ◆ 海外ドボクを見てみよう！第1弾 石畳編その3「箱根の石畳を調査してみた」（学生小委員会）
https://www.tiktok.com/@kaigai_doboku/video/7348442487981231393?is_from_webapp=1&sender_device=pc&web_id=7350452274193483271
- ◆ 土木学会誌 2024 年 4 月号 ※JSCE ウェブサイト (英語版)
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆ Safe and Healthy Work in the Digital Age 2023-2025 Campaign
<https://healthy-workplaces.osha.europa.eu/en/media-centre/events/launch-ceremony-healthy-workplaces-campaign-safe-and-healthy-work-digital-age-2023-2025>
- ◆ ACECC Future Leaders Website
<https://aceccfutureleaders.org/>
- ◆ CECAR10 : <http://www.cecar10.org/>
- ◆ 第 12 回東アジア地域ダム会議 (EADC) : <https://confit.atlas.jp/guide/event/eadc2024/top>
- ◆ The 10th World Water Forum : <https://worldwaterforum.org/>

配信申し込み

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・ 日本語版: (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・ 英語版: (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

直近の国際センターの活動について紹介しています。
 (<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】 JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp 皆様のご意見やコメントをお待ちしております。